

学校応援プロジェクト 2023 年度活動報告

キャリア夏プロ'23

東大和市立第四中学校進路・キャリア学習プロジェクト 中央大学附属中学校進路・キャリア学習プロジェクト

キャリア教育プロジェクトでは、8 月末から 9 月にかけて、中学 3 年生を対象とするキャンパス訪問型のプロジェクトを 2 つ連続で実施しました。

当日に実施する個々のコンテンツについては共通する部分も多いことから、「キャリア夏プロ」として、一体的に企画や準備を進めることとなりました。準備期間は大学の試験期間と夏休み期間に重なっていたこと、普段は都心キャンパスに通学している学生も多数参加していることから、オンラインやチャットを積極的に活用して準備を進めました。



1. 東大和市立第四中学校進路・キャリア学習プロジェクト

8 月 29 日（火）、東大和市立第四中学校のみなさんを多摩キャンパスに迎え、プロジェクトを実施しました。このプロジェクトは中学 3 年生を対象に、生徒さんは中学校以降の進路を考える一助となること、また学生は実際の教育現場での活動を通してプロジェクトの企画力・運営力・実践力を身に付けることを目的として行いました。

はじめに行った企画は「キャンパスムービー」です。これは中央大学多摩キャンパスの施設を紹介するもので、映像や動画内のアナウンスを含め大学生が一から作り上げました。時間の都合上大学を実際に周ることができませんでしたが、キャンパスの雰囲気や伝わるように、大学生がその施設をどのように活用しているのか等具体的な話を用いるようにしました。生徒さんも配布したキャンパスマップと照らし合わせ、映像の場所を確認する等していた他、生協が紹介された際は施設の広さに驚きの声をあげていました。

その後「大学とは何か」「大学は何をすることでいいのか」という問いのもと、大学での学びやキャンパスライフについて、また学問におけるアンコンシャスバイアスの問題も取り上げた「大学ガイダンス」を行いました。導入として中央大学の図書館の蔵書数や敷地面積のクイズを行い、中学校や高校と大学が異なる点を授業・課外活動など分野を分けて比較して説明しました。生徒さんは終始真剣な眼差しで学生の説明に聞き入っている様子でした。

休憩を挟み、後半一つ目の企画として「大学生による授業」を行いました。この企画は学生が大学で受けている普段の講義の紹介をすることを目的に、企画から構成まで学生自身が進めたもので、各教室に分かれて実施しました。授業のコースは全部で 16 個あり、その内容も数学の確率の問題から法律、日本のアイドルの歴史など多岐に渡りました。学生が用意したワークシートを用いてある事象や問題をグループで検討したり、自分の意見をまとめて



発表するなどの活動を通して、はじめはぎこちない雰囲気だった話し合いが、お互いに意見を伝え合い、提示された問題に積極的に取り組むことができました。

その後再びクラス単位で教室に集まり「アイスブレイク」を行いました。これは後に行う「キャリア相談」で生徒が学生に多く質問ができる雰囲気を作るため、大学生との距離を縮める目的でプロジェクトが毎回行っているミニゲームのことを指します。今回は「共通点探しゲーム」を行いました。このゲームは、例えば「過去と未来、行けるならどっちに行きたい？」というお題が出された時、グループで回答を一斉に見せ合い、グループの中で回答が重複した分が得点となります。この合計点をグループ同士で競いました。回答を出し合った後も「どうして過去に行きたいと思ったの？」とお題について話を広げたりするなど、生徒さんと学生が打ち解けているような様子が伺えました。

「アイスブレイク」で学生との距離を縮めた後、本プロジェクトのメイン企画である「キャリア相談」を行いました。「キャリア相談」では、大学生が1人、生徒5、6人のグループに入り、大学のことや進路選択、中学・高校での勉強のことについて生徒さんの相談及び質問に乗ることをしています。学生は自分の所属学部以外の学部や学問系統に関しても事前に共有し、当日は実際の時間割や使用している教科書等も示しながら生徒さんの質問に答えていました。今回は従来の「キャリア相談」とは異なり、1回15分でグループにいる大学生を交換し、2回目は法学部や理工学部と特定の学問系統に興味がある人のために別部屋を用意して自分の進路を検討する上で多様な意見を聞けるようにしました。どの班も質問が絶えることなく、予定していた時間では足りずに終了した後も追加で学生に質問や相談をしている様子が見え、「将来のことについて考えられるようになった」とうれしい言葉をかけてくれた生徒さんもいました。



参加メンバーによる当日の反省会では各々が疲れた表情を見せながらも「楽しかった」「やってよかった」と口にするなど、充実したプログラムを企画、運営することができました。午前中という短い時間ではありましたが、生徒のみなさんも企画の一つひとつを真剣に、かつ楽しんで取り組んでくれました。

2. 中央大学附属中学校進路・キャリア学習プロジェクト

9月7日(木)、中央大学附属中学校の3年生・5クラスの皆さんを多摩キャンパスに迎え、中央大学と附属校の教育連携プログラムの一環としてキャリア教育のプロジェクトを実施しました。

中学生の皆さんに「大学で学ぶとはどういうことなのか」「中学校での学習と何が違うのか」について具体的なイメージを持ち、進学や将来のキャリア形成について考えるきっかけにすることを目的としています。1日を通じて5つのプログラムを実施し、大学生と交流を深めながら大学構内の施設を利用することで、実際に通っている大学生目線でパンフレットや説明会よりもリアルな「大学」の姿を知り、自分の将来についてより解像度を高めてもらうことを目指しました。

【当日の内容】

- ①大学ガイダンス
- ②キャンパスムービー上映
- ③大学生による模擬授業
- ④アイスブレイク(ミニゲーム)
- ⑤班単位の進路、キャリアに関する懇談・相談

個々のプログラムの内容は次の通りです。

①大学ガイダンス

Forest Gateway CHUO のホールにて行いました。「大学とはどういった所なのか」、生徒さんがイメージしやすい中学校や高校での生活と比較しながら、授業や部活動などの課外活動、キャンパスの施設についてクイズを交えて説明しました。また、学部紹介では「アンコンシャスバイアスの解消」をキーワードに据え、「女子は文系、男子は理系」「文学部は就職に弱い」「法学部といえば六法全書」など無意識に各学部に対して感じてしまいがちな偏見やイメージを取り払うことを目指して中央大学に存在する 8 学部を紹介し、実際に通っている学生だからこそのプレゼンテーションを行いました。

②キャンパスムービー上映

続いて、中央大学の 4 キャンパスを紹介するキャンパスムービーを上映しました。学生が作成したムービーを視聴し、今回は訪問できなかった多摩キャンパス以外の 3 キャンパス(後樂園キャンパス、茗荷谷キャンパス、市ヶ谷田町キャンパス)についても雰囲気を感じてもらうことが出来ました。

③大学生による授業

3 号館に移動し、それぞれが興味を持った授業を 2 コマ受講しました。

「自分の関心に合わせて授業を選ぶ」「授業ごとに教室を移動し、違うメンバーで授業を受ける」といった体験も、普段は決められた時間割をクラス単位で受けている中学生にとっては新鮮で、大学生の生活を体感するきっかけになります。

大学生が普段自分の学部や専攻で学んでいることを生かして「誰一人残さないデジタル化」とは？」「日常の中にある心理学～動機づけ～」など中学生が興味を持って参加できるような授業を全 16 講座用意しました。それぞれがスライドやワークシートに工夫を凝らしながらグループワークやタブレット端末など中学生が楽しめる仕掛けを取り入れた授業を展開し、大学の専門的な学びに触れることが出来たようです。

生徒さんが授業中に積極的に手を挙げてくれたり、授業後に「面白かったです！」「勉強になりました！」と学生に感想を伝えに来てくれたりと嬉しい光景があちこちで見られました。



授業の 1 コマ目を受け終わったら、お昼の時間です。

この時間はキャンパス内を散策することが出来、大学ガイダンスやキャンパスムービーで紹介された施設を実際に訪れながら、キャンパスの大きさを体感してもらいました。

学食で昼食をとることも出来、大きな食堂で好きなメニューを選び、友達と食事を楽しむというのも大学生らしく、新鮮な体験になったようです。

④アイスブレイク(ミニゲーム)

お昼休憩に続いて 2 コマ目の授業を受けた後、クラスごとの教室に集合しました。

この後の班ごとのキャリアに関する相談会の前に大学生と打ち解けて、話しやすい空気を作るためにミニゲームを行います。

今回は「共通点探しゲーム」という、あるお題(例：「なつてみたい動物は？」など)に対する回答が班の中で揃った人数だけ得点が入るゲームを行いました。班で作戦を立てたり、大学生との意外な共通点を見つけたりするうちに会話が盛り上がり、先ほどまでの緊張した様子とは打って変わって笑顔が見られました。

⑤班単位の進路、キャリアに関する懇談・相談

アイスブレイクで緊張が解けた所で、大学生に自由に大学生活や進路選択について質問が出来るキャリア相談会を行います。

1 回目のキャリア相談ではアイスブレイクと同じ大学生が班に入り、ゲームで盛り上がった空気をそのままに会話を弾ませていました。

2 回目は今年度からの新しい試みとして、中学生がそれぞれ興味のある学部の大学生に質問が出来る体制にしました。多くの生徒さんが積極的に移動し、自分の進路に合う大学生の話に真剣に耳を傾ける様子が見られました。



全プログラムが終了した後の写真撮影には大学生も加えて頂き、一日活動した後にも関わらず元気いっぱいな中学生の皆さんのアクティブさに驚かされると共に、楽しげな笑顔に大学生メンバー一同達成感を得ることが出来ました。



今回の2つのプロジェクトは6月下旬からスタートし、のべ60名以上の大学生が参加した大規模なものとなりました。「みんなで作る夏プロ！」を掲げ、全員が大学ガイダンス、アイスブレイク、キャリア相談のグループに入り、企画から準備までを行いました。

また、大学生による授業には、学校応援プロジェクト内のグローバル、プログラミング、いじめ防止、SNSリテラシーの各チームも参加し、学校応援プロジェクトの総力をあげて文字通りみんな作り上げたプロジェクトとなりました。

中学生の皆さんの笑顔を見ることが出来て嬉しかったのと同時に、私たち大学生にとっても有意義で実りある経験となりました。

東大和市立第四中学校3年生のみなさん、中央大学附属中学校3年生の皆さん、ありがとうございました！

またぜひ中央大学に遊びにいらして下さい！